

幸福度指標体系図(生活の質に関する調査との関係)

幸福度	主観的幸福度	主観的幸福感、理想の幸福感、将来の幸福感、人並み感、感情経験、世帯内幸福度格差											総指標数	6	
	指標数	6:但し主観的幸福感、理想の幸福感、将来の幸福感はそれぞれ一つの質問への回答に基づく指標。人並み感、感情経験は複数の質問への回答から構成される。											第1回生活の質調査総指標数	6	
	大枠	経済社会状況					心身の健康			関係性					
	ライフステージ \小項目	基本的ニーズ	住環境	子育て・教育	仕事	制度	身体的健康	精神的健康	身体・精神共通	ライフスタイル	個人・家族のつながり	地域・社会とのつながり	自然とのつながり		
	個人・世帯・地域	貧困状況(最低所得基準等以下の世帯)(客)	ホームレス数(客)	学歴(客)	望まない非正規雇用率(客)	制度への信頼(政府)	長期疾患率(客)	自殺死亡者数(客)	平均寿命(客)	自由時間(客)	家族・親族、友人との接触密度	自己有用感	自然への畏敬		
		相対的貧困率(客)	住居費負担感	産婦人科医の地域格差(客)	雇用者低密度世帯(客)	年金、健康保険未加入(客)		ストレス	医療サービス満足度	時間配分満足度	単身世帯数(客)	他者への信頼	地元の自然、文化への理解度		
		物質的制約率	住宅への満足度		女性管理職がいる企業(客)	治安認知		希死念慮	看病、精神疾患、障害、介護を抱える家庭の疲労度	社会のために役立ちたいとする者	孤立感	困っている人を助けるのは当然と思う者	地域の伝承の認知		
		相対的貧困ギャップ(客)	劣悪な住居環境(一人当たり面積が一定以上より狭い、騒音、日当たりなど)		研究関係従業者数(客)	意見募集制度の認知度(客)		クリニック、カウンセラー受診満足度	看病、精神疾患、障害、介護を抱える家庭のサポート体制の満足度	海外等の文化の受容度・柔軟性(国際性)	困った時に助けてくれる(または本心から相談できる)者の有無	世代を越えた交流(客)	環境問題への理解度		
		食の安全	路上のゴミ(不満なし)			投票率(客)					家族生活満足度	地域とのかかわり度	災害時避難率(客)		
		家賃、公共料金が経済的理由で支払えなかった世帯(客)	水質、大気(不満なし)、放射線量への不安										ネットコミュニティの形成度(客)		
消費者被害		近隣の安全(夜、一人で歩くことができる)										現在の居住地に住み続けたいと思う者			
物質的幸福の主観的評価	身近な環境(買い物、緑地、医療機関など)										献血率、募金率(客)				
子ども・若者	子どもの貧困率(客)	学校等からの帰宅時に保護者が自宅におらず、子どもだけで過ごす時間がある子どもの数(客)	学校生活満足度	ニート数(客)		乳児死亡率、幼児死亡率(客)	子ども当たり児童虐待相談対応件数(客)		遊び、就学、塾・習い事の時間配分(客)	孤独を感じる子どもの割合	ひきこもり数(客)				
			高校中退率(客)	若年失業率(客)		疾患率(喘息、アトピー性皮膚炎など)(客)	虐待児童の受入施設数(客)				疎外感(ニート・ひきこもり尺度)				
			生きる力の獲得(客)	起業率(客)		発達障害(注意欠陥・多動性障害(ADHD)など)(客)					公園等の遊び場				
			いじめの認知件数(客)	起業希望者率(客)							近隣の環境(犯罪など)				
成人	自己破産(客)		子育て満足度	仕事満足度(充実感)			うつ	ドメスティックバイオレンス認知件数(客)	有給休暇取得率(客)	両親など近親者が近隣にいない世帯(客)	NPO、NGO、スポーツ・趣味団体など活動への参加頻度(客)				
			男性の子育て参加への満足度(女性)	求人倍率(客)				妊娠産婦死亡率(客)							
			幼稚園、保育園に入りたいのに入れない(客)	過労死への不安感											
			経済的理由により高校/大学に入学/進学できない者(客)	ハラスメントを受けた(受けている)者の比率(客)											
			子育て支援サービス満足度	長期失業者数(客)											
高齢者	高齢者当たり自虐高齢者数(客)			社会活動参加率(特に80歳未満)(客)		日常生活動作(ADL)(客)	年齢別認知症発症率(客)	健康自己評価	手段的日常生活動作(IADL)(客)	独居で、かつ親族が近隣にいない世帯数(客)					
	高齢者当たり孤独死数(客)					寝たきり高齢者(客)									
	孤独死への不安を感じる者の比率														
	老後の生活費不安														
指標数	14	9	13	15	5	5	9	7	7	8	13	5	総指標数	110	
三木柱における今回調査の指標数	5	6	4	2	2	0	3	4	1	6	6	1	第1回生活の質調査総指標数	40	
持続可能性	①地球温暖化:温室効果ガスの年間総排出量(家計部門は特記)、②物質循環:資源生産性・循環利用率・廃棄物の排出量と最終処分量(生活系ごみは特記)、③大気環境:大気汚染に係る環境基準達成率・都市域における年間30℃超高温時間数・熱帯夜日数、④水環境:公共用水域の環境基準達成率・地下水の環境基準達成率・バーチャル・ウォーター総輸入量(車)、⑤化学物質:PRTR対象物質のうち環境基準・指針値が設定されている物質等の環境への排出量、⑥生物多様性:脊椎動物、昆虫、維管束植物の各分類群における評価対象種数に対する絶滅のおそれがある種数の割合・生物多様性指数、⑦環境容量の占有量:エコジカル・フットプリント、⑧消費者行動:フェアトレード商品購入量・エコラベル商品購入量、⑨企業などの情報開示:CSR報告書を作成している企業数											総指標数	16		
	(客)は客観的指標、その他は主観的指標。 ピンクは訪問調査法で調査した指標。 黄色はインターネット調査で調査した指標。											総計	132		
												第1回生活の質調査総計	46		